2015 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが，会員の方々の評価や希望をうかがい，今後の改善に役立てるために，モニタ制度を設けております．

関心のある方はぜひふるってご応募ください．

応募の資格　本会員で，モニタの役割を積極的に果たしていただける方．

モニタの役割　「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ（http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html）から，毎月アンケートに回答する．

- 記事に対する評価
- 記事に対する感想・意見
- 記事テーマの提案
- そのほか全般的な意見・提案など

注）記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません．自分の立場や問題意識，得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します．

期　間　原則として 1 年間（2015 年 4 月～ 2016 年 3 月）．**＊最長 3 年までとします．**

対 象 号　会誌「情報処理」56 巻 5 号～ 57 巻 4 号，および年に 4 回 Web ページ（https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/）にて公開される「デジタルプラクティス」

謝　礼　貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します．

募集人員　特に定めませんが，応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります．

応募締切　2015 年 2 月 27 日（金）必着　＊申込書を Fax するか，または E-mail でお申し込みください．

申込／照会先　情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）

2015 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先：情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375

氏　名

会員番号　（　　）

住　所　〒

所　属

E-mail:
Tel（　　）　　-
Fax（　　）　　-
年　齢　（　　歳）

業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関（d）教育機関（大学・高専など）（e）学生（f）その他

職種：（a）研究職（b）開発・設計（c）システムエンジニア（d）営業（e）本社管理業務（f）会社経営・役員・管理職
（g）教員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）（i）学生（j）その他

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では，11 月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，巻頭コラム「IT 化でコミュニケーションは変質するか？」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■コミュニケーションツールの移り変わりとそれぞれの世代の対応について改めて考えさせられた．
（匿名希望）

特別解説「ベネッセ個人情報漏洩事件」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■セキュリティ対策には必ず盲点があることが分かった．
（匿名希望）

■新聞報道等では知り得なかったくわしい背景説明やセキュリティの課題が詳細に述べられ，周囲の人にも教えたくなるものだった．（匿名希望）

■運用体制や法的問題まで解説され，短いながらも読みごたえがあった．（匿名希望）

特集「オリンピックのための情報処理」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■あまりにも世間の流行に流されすぎているように感じられた．（水野光朗）

■とても良いテーマで参考になりました . この記事だけで 1 年分くらいの価値がありました．感謝します！
（高木　淳）

■オリンピックについては，2020 東京オリンピックまでの中間地点である 3 年後に再び特集を組み，今回 2014 年の特集の展望がどの程度実現されているかの検証をしていただきたい．（稲本　康）

■研究動向をくわしく知り得ることができ，とても興味深く読むことができた．（匿名希望）

■オリンピックは 4 年に一度開かれる．4 年という目盛りとムーアの法則に代表される，その間の IT の進化，それを社会で取り入れることができるかどうかという制度的な制約，それぞれの絡みをオリンピックという切り口で具体的なデータに基づいて解説されていて興味深かった．（牛島和夫）

■多角的なアプローチで大変興味深かった．（匿名希望）

■科学技術がどのようにかかわってきたのかを知ることができ，大変興味深かった．（匿名希望）

■オリンピックに向けての情報の取り組みを考えていかねばねらないと，背中を押された感じがしました．
（匿名希望）

「2．オリンピックにおける人の流れの解析」
■人の誘導は賞罰や規制だけでなく，HCI やデザイン的なアプローチも有効かと思いますので，そういった研究をされている方の記事もあればより良かったです．
（匿名希望）

「10．2020 東京オリンピックの経済効果」
■情報処理学会の範疇から外れていると思う．
（稲本　康）

特集「モバイル時代のサービスを支える技術」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■情報流特集は，本誌ならではのテーマであり，非常に参考になった．今後数年間は，最重要課題の 1 つであり続けると考えられ，毎年 1 回，特集を組んで，その変遷を追跡してほしい．（酒井保良）

■ますますスピードが上がり複雑さが増すモバイルの 5G 規格について，いつごろ規格として成立するのか気になった．（匿名希望）

「1．次世代のモバイルネットワークはどうなるのか」
■図 -2，2015 年はいまだ実現していない予想値だ．2015 年の予想値が 2010 年の実現値にくらべて 24 倍だから 2020 年は 2015 年の 24 倍になるという議論は乱暴だ．（牛島和夫）

「4．ビッグデータとのつきあい方」
■信頼を担保する情報銀行についてイメージが湧きづらかった．「世帯」のような概念の取り扱いを考えると自治体に近いイメージだが，消費行動データが流れることを許容しない人も多くいると思われ，仮に希望者制のサービスだと考えると，民間のクレジット会社が業態を拡大するようなイメージだろうか．（高橋雅彦）

「5．多数のデータストリームを実時間で融合・編纂し利活用するための次世代『情報流』技術」
■キュレーションを，情報の送出側だけでなく，受け手にも開放してもらえないかと考えた．大画面テレビをたとえば 4 分割して 4 画面を同時に送出する．受け手はそれを好みに応じて取捨選択する（受け手のキュレーション）．4 画面すべてを同時に観てもよい．
（牛島和夫）

教育コーナー「ぺた語義：国語科教育における情報教育の必要性」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■ IT 機器の活用以外にも，国語とプログラミングは親和性が高いので活用できるのではないかと感じた．数式が苦手で数学を諦める人が多くいる中，抽象的な思考に対する苦手意識をなくす訓練として役立つのではないかと考えた．
（高橋雅彦）

連載「会誌編集委員会女子部」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■出産のむずかしさを率直に伝えていたのは女性からの発信としてとてもよいと思った．任期付き採用の場合にも育児休暇制度が整備されているとはいっても，事実上利用困難な現状がある．そういった現状を変えていくのに，率直な女性研究者の発信は重要だと思う．
（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して，以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にいたします．

■ ICT を活用した科学教育をテーマとして取り上げてほしいです．
（匿名希望）

■オリンピックやベネッセの時事ネタなど読みやすい記事が多かったです．
（匿名希望）

■国際的な標準化戦略について，ソフトウェアがハードウェアをコントロールしている事例などが知りたい．
（高橋雅彦）

■今回のベネッセ情報流出の記事もそうですが，最近タイムリーな話題の解説をいくつか掲載いただけているので，ありがたいです．
（匿名希望）

■ユビキタスやクラウド，ビッグデータの基礎となる計算機科学（理論）の現状と実践展開の見通し．エスノグラフィなどの社会学的，質の調査方法と情報システム設計との関係．
（匿名希望）

■今後の興味としては，営業，販売，サポートなど顧客接点で使われる IT，機械学習の応用などがある．
（匿名希望）

■画像データと音声データの融合処理などありましたら，取り上げていただきたいと思います．
（菅野純一）

■放送と通信の融合に関する最新動向について取り上げていただければと思います．
（江原康生）

【本欄担当　北山大輔，岸本頼紀／会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html > にも掲載しています．Web 版では，紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので，ぜひ，こちらもご参照ください．
会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，
・記事に対する感想，意見　・記事テーマの提案　・会誌または学会に対する全般的な意見，提言
・その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言
など自由なご意見，ご感想をお待ちしております．
なお，「道しるべ」については
<URL：http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> で
これからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．
※ ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．

掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがありますので，あらかじめご了承ください．　なお，意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
<URL：http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

応募先　〒 101-0062　東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
一般社団法人　情報処理学会　会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp　Fax (03) 3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html

ご意見をお寄せください！

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	デジタルプラクティス「UXが拓く新しいデザインの世界」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0604s.html	2月5日（木）		
	論文誌「ヒューマンファクタを考慮したセキュリティとプライバシ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-Y.html	2月27日（金）		
	東海支部平成26年度学生論文奨励賞募集案内 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日（日）		
	論文誌「スマートコミュニティ実現のための高度交通システムとモバイル通信」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-C.html	3月27日（金）		
	論文誌「創造する時代のコラボレーション支援とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-D.html	4月1日（水）		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-E.html	5月7日（木）		
1月19日（月）～ 1月20日（火）	第220回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl220.html	12月2日（火）	当日のみ	九州大学医学部 百年講堂
1月20日（火）～ 1月22日（木）	The 8th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous http://www.icmu.org/icmu2015/			ロワジールホテル函館
1月22日（木）～ 1月23日（金）	ウィンターワークショップ2015・イン・宜野湾 http://wws.sigse.jp/2015/			カルチャーリゾートフェストーネ
1月22日（木）～ 1月23日（金）	第195回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim195.html	11月13日（木）	当日のみ	奈良先端科学技術大学院大学
1月26日（月）～ 1月27日（火）	第93回GN・第12回CDS・第9回DCC合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn93cds12dcc9.html	12月1日（月）	当日のみ	壱岐文化ホール
1月26日（月）～ 1月28日（水）	Annual Meeting on Advanced Computing System and Infrastructure（ACSI）2015 http://acsi.hpcc.jp/2015/	9月26日（金）		つくば国際会議場
1月29日（木）～ 1月30日（金）	第206回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc206.html	11月13日（木）	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月29日（木）～ 1月30日（金）	第169回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm169.html	11月14日（金）	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月30日（金）	東海支部主催講演会「OSSとクラウドの徹底活用による先進的なIT基盤へのチャレンジ」 http://www.ipsj-tokai.jp/		当日のみ 参加無料 会員外の方も参加可	名古屋工業大学
1月30日（金）	高度交通システム（ITS）2015シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its2015.html		当日可	トヨタ博物館
1月31日（土）	第105回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch105.html	12月8日（月）	当日のみ	大阪国際大学 守口キャンパス
1月31日（土）	第15回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle15.html	12月12日（金）	当日のみ	東京学芸大学
2月3日（火）	ソフトウエアジャパン2015 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2015/		1月23日（金）	タワーホール船堀
2月14日（土）～ 2月15日（日）	第128回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce128.html	12月25日（木）	当日のみ	大阪学院大学
2月26日（木）～ 2月27日（金）	第132回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os132.html	1月13日（火）	当日のみ	長崎大学 文教キャンパス
2月27日（金）	第88回オーディオ・ビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm88.html	12月19日（金）	当日のみ	沖縄県男女共同参画センター
2月27日（金）～ 2月28日（土）	第158回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg158.html	12月21日（日）	当日のみ	理化学研究所
2月28日（土）	第67回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip67.html	12月19日（金）	2月2日（月） 当日のみ	神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス
3月2日（月）～ 3月3日（火）	第74回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第45回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl74ubi45.html	12月24日（水）	当日のみ	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
3月2日（月）～ 3月3日（火）	第148回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc148.html	12月25日（木）	当日のみ ※宿泊に関しては後日掲載予定	花菱ホテル
3月2日（月）～ 3月3日（火）	第106回音楽情報科学・第35回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus106ec35.html	1月14日（水）	当日のみ	甲府富士屋ホテル
3月3日（火）	第152回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al152.html	1月5日（月）	当日のみ	電気通信大学
3月3日（火）～ 3月4日（水）	第102回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps102.html	1月8日（木）	当日のみ	島原文化会館
3月4日（火）	第60回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its60.html	1月9日（金）	当日のみ	大阪大学 東京オフィス
3月5日（木）～ 3月6日（金）	第28回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot28.html	1月9日（金）	当日のみ ※宿泊に関しては研究会Webページ参照	小名浜オーシャンホテル (福島県いわき市)
3月5日（木）～ 3月6日（金）	第162回マルチメディア通信と分散処・第68回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps162csec68.html	1月9日（金）	当日のみ	法政大学 小金井キャンパス

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月5日（木）～ 3月6日（金）	第196回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim196.html	1月9日（金）	当日のみ	東北大学 片平さくらホール
3月6日（金）	第131回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is131.html	1月9日（金）	当日のみ	東京電機大学 東京千住キャンパス
3月6日（金）	第33回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi33.html	1月15日（木）	当日のみ	東京大学 駒場キャンパス
3月6日（金）～ 3月7日（土）	第170回システムとLSIの設計技術・ 第36回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm170emb36.html	1月13日（火）	当日のみ	奄美市社会福祉協議会
3月9日（月）～ 3月10日（火）	第103回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro103.html	1月6日（火）	当日のみ	産業技術総合研究所 臨海都心センター
3月12日（木）～ 3月13日（金）	第187回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se187.html	1月26日（月）	当日のみ	化学会館 会議室
3月17日（火）～ 3月19日（木）	情報処理学会 第77回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/	講演申込登録 11月21日（金）19:00	事前予約申込登録 2月20日（金）	京都大学 吉田キャンパス
5月19日（火）～ 5月20日（木）	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム http://hpcs.hpcc.jp/			東京大学 武田先端知ビル
9月15日（火）～ 9月17日（木）	FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/			愛媛大学 城北キャンパス

Webページ（http://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］

12月15日　人材募集情報（Vol.56 No.1）

12月15日　2015年度 会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集

12月15日　会誌「情報処理」Webカタログ（Vol.56 No.1）

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書に記載する「宛名」，Web 掲載の有無などを記載し，掲載希望原稿（［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］）を添えて下記の申込先へ，E-mail，Fax または郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

申込期限：毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

掲載料金：国公私立教育機関，国公立研究機関　税抜 20,000 円（税込 21,600 円）
賛助会員（企業）　税抜 30,000 円（税込 32,400 円）
賛助会員以外の企業　税抜 50,000 円（税込 54,000 円）
＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます．

申 込 先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
＊原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています．もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■函館工業高等専門学校生産システム工学科

募集人員　特命助教　1名
専門分野　情報工学分野全般（特に，情報セキュリティ，ソフトウェア工学，コンピュータ工学）
担当科目　ソフトウェア工学，情報セキュリティ，情報システム，コンピュータ工学，工学実験，創造実験，卒業研究，特別研究等
応募資格　高専における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有し，かつ次の各号に該当する方．教員免許の有無は不問，(1) 博士の学位または技術士の資格を有する方（採用予定日までに確実に取得見込みの方を含む），(2)高専における教育，研究，学生指導（学級担任，寮生指導，課外活動等），学生支援に理解と熱意があり英語論文とプレゼンテーションの指導ができる方，(3) 共同研究，公開講座，生涯学習等地域貢献に意欲のある方
着任時期　2015年4月1日
提出書類　本校Webページ（http://www2.hakodate-ct.ac.jp/guidance/kyoinkoubo）を参照のこと
応募締切　2015年1月30日（必着）
送付先／照会先　本校Webページ（http://www2.hakodate-ct.ac.jp/guidance/kyoinkoubo）を参照のこと

■大阪大学大学院工学研究科

募集人員　教授（常勤）　1名
所　　属　電気電子情報工学専攻通信システム工学講座
専門分野　サイバーセキュリティ工学（情報理論，暗号理論を学問的基礎とした，情報システム，ネットワーク，データのセキュリティマネジメント，サイバー攻撃に対する防御・対抗技術など）
応募資格　(1)博士の学位を有すること，(2)専門分野に顕著な研究業績があり，大学院学生の研究指導を行うことができる方
着任時期　2015年度内のできるだけ早い時期
提出書類　Webページ（http://www.eei.eng.osaka-u.ac.jp/contents/application.html）参照
応募締切　2015年3月2日（必着）
送 付 先　〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1　大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻　専攻長　伊瀬敏史
照 会 先　情報通信工学部門長　滝根哲哉　E-mail: takine@comm.eng.osaka-u.ac.jp
そ の 他　詳細は（http://www.eei.eng.osaka-u.ac.jp/contents/application.html）を参照ください

■熊本大学大学院自然科学研究科

募集人員　教授　1名
所　　属　情報電気電子工学専攻
専門分野　情報創成分野（特に，グリーンコンピューティングとビッグデータ処理を指向した情報・集積システム分野）
応募資格　博士あるいはPh.D.の学位を有する方
着任時期　採用決定後できるだけ早い時期
提出書類　(1)履歴書，(2)研究略歴および業績リスト，(3)主要論文別刷（10編まで，コピー可），(4)教育に対する抱負（A4用紙2000字程度），(5)研究に対する抱負（A4用紙2000字程度），(6)所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切　2015年3月31日（必着）
送 付 先　〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1　熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻　専攻長　上田裕市
照 会 先　情報電気電子工学専攻　先端情報通信工学講座　有次正義　E-mail: aritsugi@cs.kumamoto-u.ac.jp　Tel(096)342-3641（直通）
そ の 他　詳細はWebページ（http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/）を参照ください

■（株）豊田中央研究所

募集人員　客員研究員　1名（任期：最長3年，1年ごとの更新）
職務内容　技術文書やソーシャルメディアのビッグデータ解析による，技術経営のために有益な知見の獲得法の研究
専門領域／専攻分野　情報工学，技術経営，ビジネスインフォマティクス
応募資格　ビッグデータ処理の経験があり，ビジネスの問題解決への適用に関心が高い方，または技術経営に精通し，データ分析のスキルを有する方（修士以上）
着任時期　2015年4月1日～（応相談）
提出書類　履歴書，職務歴（研究実績），論文リスト，主要論文別刷（コピー可）等　※職務内容を明記の上，お送りください
応募締切　2015年3月31日（順次選考，採用が決定次第終了）
送付先／照会先　〒480-1192 愛知県長久手市横道41-1　（株）豊田中央研究所　人材開発G　採用担当
E-mail: saiyo@mosk.tytlabs.co.jp　Tel(0561)63-6509　Fax(0561)63-5744
＊応募書類は返却いたしません．応募の秘密は厳守いたします
そ の 他　Webページ（http://www.tytlabs.co.jp/）

FIT2015 第 14 回情報科学技術フォーラム
査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会　期：2015年9月15日（火）～17日（木）
会　場：愛媛大学 城北キャンパス（愛媛県松山市文京町3番）

FIT2015 Web ページ　http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/

査読付き論文受付期間(予定)：2015 年３月　４日（水）～4月 15 日（水）
一般論文　　受付期間(予定)：2015 年４月 22 日（水）～5月 21 日（木）

◆論文ページ数：2～8ページ程度　　◆講 演 時 間：20分
◆3ページ目以降はエキストラページ料金（4,000円／ページ）が必要です

情報処理学会（IPSJ）と電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ（ISS）並びにヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT：Forum on Information Technology)」を開催しており、2015年9月には第14回目を愛媛大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●論文誌への道！　「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度（6～８ページ程度）

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込とあわせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、ご希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2015 年 6 月 19 日に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●申込主要日程（予定）

※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文
登録申込／投稿受付開始：2015 年 3 月 4 日（水）
登録申込締切／査読用原稿の投稿締切
：2015 年 4 月 15 日（水）
査読の採否結果通知　：2015 年 6 月 19 日（金）
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)
：2015 年 6 月 19 日（金）
最終掲載投稿締切　：2015 年 6 月 29 日（月）

■一般論文
登録申込／投稿受付開始：2015 年 4 月 22 日（水）
登録申込締切　：2015 年 5 月 21 日（木）
最終掲載原稿　：2015 年 6 月 29 日（月）

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2015Webページよりお願い致します。
※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2015Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文（4～8 ページ程度）

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。
研究会取り扱い分野をよくご確認のうえご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者ご自身の責任において適切に選択して下さい。
査読付き論文を受付ない研究会もございますのでご注意下さい。査読付き論文の募集を行う研究会については、Web ページを御覧下さい。
査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います（一般論文発表となります）。

●一般論文（2～8 ページ程度）

研究会取り扱い分野をよくご確認のうえご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者ご自身の責任において適切に選択して下さい。

●表彰

FITには、以下の表彰制度がありますので是非ともチャレンジして下さい。
いずれの賞も受賞対象は、情報処理学会または電子情報通信学会の会員であることが条件となりますのでこの機会に是非ご入会下さい。

船井ベストペーパー賞	査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査のうえ 3 件選定。賞金は船井情報科学振興財団より 20 万円贈呈。
FIT 論文賞	査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査のうえ 7 件程度選定。賞金は FIT 運営委員会より 5 万円贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	2015 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者（査読付き論文および一般論文）の中から、発表件数の 1.5%を上限として選定。賞金は FIT 運営委員会より 3 万円贈呈。本賞受賞は本人に対し一回のみ。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定（該当なしもあり）。FIT 終了後に賞状を贈呈。

●問い合せ先（FIT2015幹事学会）

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 事業部門 TEL.03-3518-8373　FAX.03-3518-8375　e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

第５回世界工学会議（WECC2015）

http://www.congre.co.jp/wecc2015/ja/

開催日：　2015 年 11 月 29 日（日）～12 月 2 日（水）
会　場：　国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）
主催者：　公益社団法人日本工学会、日本学術会議、
世界工学団体連盟（WFEO）、UNESCO
協　賛：　日本工学会正会員９５学協会（依頼中も含む）
後　援：　経済産業省、国土交通省、文部科学省ほか関係団体
（依頼中も含む）

当会議は、工学・工業の広範な領域における研究開発の現状と将来像を、300 名を超える各分野の指導的研究者・技術者を招いてレビューするものであります*。すなわち、各企業・研究所において今後の研究開発を行う上で参考となる諸分野の動向を 3 日間にわたって展開いたします。それゆえ当会議は 2014 年６月に内閣が認定する閣議了解の重要会議に指定されました。（*別途一般応募の講演もテーマ内容により受付けをいたします。）

参加予定数：　約 80 ヵ国 2,500 名（海外 800 名、国内 1,700 名）
（技術展示会のみの来場者見込：5,000 名）
一般からの講演申込み締切日：2015 年３月 10 日（火）

技術展示会：当会議に参加する海外からの参加者の大半が、各国の政策立案・実施に関与または影響力を有する WFEO 委員会の委員であることから、当会議技術展示会は海外展開を図る企業にとって非常に実利性の高いものです。即ち、上記の多くの国々を廻るまでもなく、京都で出展するだけで目的のポテンシャリティを有する人々とのコネクションが得られます。WFEO のメンバー国には途上国が多く含まれることから、当会議の基調の一つはそれらの国々と先進国の社会インフラの強靭化です。

上記各情報の詳細は、会議 Website をご覧ください。

詳細問合せ先：公益社団法人　日本工学会事務局　中嶌　勉
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-2-2
東京理科大学森戸記念館３F
TEL　03-6265-0672、FAX　03-6265-0673
nakajima@jfes.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページまたは1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	50,000円（税込54,000円）
			1/2ページ	30,000円（税込32,400円）
			1/4ページ	20,000円（税込21,600円）
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公私立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	国公私立教育機関，国公立研究機関	20,000円（税込21,600円）
			賛助会員（企業）	30,000円（税込32,400円）
			賛助会員以外の企業	50,000円（税込54,000円）
	＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円（税込4,320円）で同一内容を本会Webページに掲載できます．			

■申込方法　任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

■原稿の書き方

●行事次第書：　A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします．
（1ページ）　天地260mm × 左右175mm
（1/2ページ）天地130mm × 左右175mm
（1/4ページ）天地　65mm × 左右175mm
＊ A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください．

●人 材 募 集：　次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください．
［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］
＊なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

■申込期限　毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します．

■掲載料金　掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください．

■掲載申込先　一般社団法人 情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel (03) 3518-8371　Fax (03) 3518-8375

IPSJ MAGAZINE Vol.56 No.2 (Feb. 2015)

CONTENTS

Preface

MOOCs, What it Brings?
Katsuhiko SHIRAI (The Open Univ. of Japan / Waseda Univ.)

Special Features
Wellness for ICT

132 **0. Foreword**
Sozo INOUE (Kyushu Institute of Technology / Karlsruhe Institute of Technology) and Tomoko MURAKAMI (Toshiba Corp.)

134 **1. The Support Technology for Lasting Lifestyle Modification**
Hiroshi NAKAJIMA (Omron Corp.)

140 **2. The Use of the National Medical Claims Database for Research in Japan**
Naohiro MITSUTAKE (Institute for Health Economics and Policy)

145 **3. ICT for Prevention of Dementia**
Mihoko OTAKE (Chiba Univ.)

152 **4. ICT-based Measurements for Exercise or Physical Activity Index and Its Practical Use to Health Promotion**
Kazunori OHKAWARA (The Univ. of Electro-Communications / National Institute of Health and Nutrition) and Hiroyuki SASAI (Univ. of Tsukuba / Japan Society for the Promotion of Sciences)

159 **5. Digital Beauty**
Hironobu YOSHIKAWA (SHISEIDO Co., Ltd.)

165 **6. Wearable Sensing and Healthcare**
Tsutomu TERADA (Kobe Univ.)

171 **7. FoodLog : A Multimedia Food Recording Tool for Self-Monitoring**
Kiyoharu AIZAWA (The Univ. of Tokyo) and Makoto OGAWA (foo.log Inc.)

Special Features
International Olympiad in Informatics (IOI)

176 **0. Foreword**
Katsuhiko KAKEHI (Waseda Univ.)

178 **1. The International Olympiad in Informatics and the Japanese Olympiad in Informatics**
Seiichi TANI (Nihon Univ.)

182 **2. The International Olympiad in Informatics 2014 in Taiwan**
Tetsushi ITO (Kyoto Univ.)

188 **3. Tasks from Olympiads in Informatics**
Kazuhiro HOSAKA (The Univ. of Tokyo)

Senior Column : Messages on Favorite IT

194 **Still I like System Verification Techniques**
Kazuhiro OHMAKI (Toyo Univ.)

"Peta-gogy" for Future

195 **Progress in Reference Standard in Informatics**
Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)

196 **Publishing of i-competency Dictionary (Trial Version)**
Hirokazu AKIMOTO (Information-Technology Promotion Agency, Japan)

200 **Biblio Talk**

202 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**

204 **Conference Report**

読後のご意見をお送りください

本誌では，現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが，より多くの読者の皆さんからのご意見，ご提案をおうかがいし，誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので，毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ（http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html）をお使いいただき，奮って事務局までお寄せください．

一般社団法人 情報処理学会　会誌編集部門　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375

論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.56 No.1（Jan. 2015）

【特集：洗練された社会を作り上げるモバイル通信と高度交通システム】

■ 特集「洗練された社会を作り上げるモバイル通信と高度交通システム」の編集にあたって　渡邊　晃
■ GPS 測位情報とセンサ情報に基づく位置推定システムに関する研究　小河原亮 他
■ 省電力ジオフェンシングサービスのための端末進行方向を考慮した間隔可変測位方式　中川智尋 他
■ 車両走行時の振動発生モデルに基づく移動手段識別方式　大橋洋輝 他
■ 交通の適応型モーダルシフトに対するシステム評価　矢野浩仁 他
■ デマンドバスと大型車両による協調型交通システムの提案　上原和樹 他

【特集：新しい時代に向けて英知を結集するコラボレーション技術とネットワーク サービス】

■ 特集「新しい時代に向けて英知を結集するコラボレーション技術とネットワークサービス」の編集にあたって　斉藤典明
■ OSS システムとコミュニティの共進化の理解を目的としたデータマイニング手法 *　山谷陽亮 他
■ ソーシャルネットワークにおけるフォロー集合分析に基づく実世界イベント分類手法　河野　慎 他
■ ウィキペディア編集コラボレーションにおける編集者間の社会ネットワークの効果　根本啓一 他
■ Quality Assessment of Wikipedia Articles using h-index　Yu Suzuki
■ 行列因子分解による Web ユーザビリティ評価値の予測　山田俊哉 他
■ User's Action and Decision Making of Retweet Messages towards Reducing Misinformation Spread during Disaster　Nor Athiyah Abdullah 他
■ デジタルサイネージとモバイル端末を連携させた複数人同時閲覧のための情報提示システム　宮田章裕 他
■ 携帯端末の通知機能を活用した用例対訳登録における利用者への貢献情報の提示による動機付けの検証　吉野　孝 他
■ 分散環境における話者交替のアウェアネス支援　敷田幹文 他
■ 看護現場における業務経験の表現・共有支援システムの開発　渡辺健太郎 他
■ リアルタイムランキングシステムで観測されたコミュニティの共振現象　小島清信 他
■ 700MHz 帯車車間通信による交通情報共有手法の検討　大西亮吉 他
■ 新規料理登録機能を持つ高齢者を対象にした栄養管理システムの開発と評価　川島基子 他
■ オフライン対応型災害時避難支援システム“あかりマップ”の日常利用可能性に関する評価　濵村朱里 他
■ 記述形式の多様性を考慮した電子メール中の議論過程抽出手法　中山祐貴 他
■ 街歩きイベントを介した位置情報付きの様相記録収集の試み　宮部真衣 他
■ 正確かつ自由度を高めた多言語間対話支援を目的とした応答用例対構築モデル　福島　拓 他

【特集：ユビキタスコンピューティングシステム（IV）】

■ 特集「ユビキタスコンピューティングシステム（IV）」の編集にあたって　椎尾一郎
■ 乾電池型センサノードを用いた携帯型電化製品の利用の認識　前川卓也 他
■ 手に装着したコイルを用いた携帯型電化製品の利用の認識　前川卓也 他
■ Hercules：平面上での無線電力共有実現のための再構成可能な磁界共振結合モジュール　成末義哲 他
■ 気圧センシングを用いた行動認識手法　米田圭佑 他
■ M2M におけるデバイスへの統一アクセス手法の提案と評価　末田欣子 他
■ ユビキタスデバイスとデジタルリソースを論理エージェントに接続するための エージェントプラットフォームの開発　顧　優輝 他
■ 閲覧履歴の関連性を考慮した閲覧意図の階層的分類手法　富士谷康 他
■ 3D オーディオと周波数変調を組み合わせた被写体位置呈示のための音声フィードバック手法の提案　瀬古圭一 他
■ 公共メディアへのジェスチャ入力のためのユーザに対する操作指示手法　小川正幹 他
■ PUCs：静電容量方式マルチタッチパネルにおけるユーザの接触を必要としない ウィジェット検出手法　中島康祐 他
■ 食行動改善を促すスマートフォン連動型センサ内蔵フォーク　門村亜珠沙 他
■ ライフログデータを用いたチームの行動変容促進　西山勇毅 他

【一般論文】

■ 議員定数配分― Webster 方式の不偏性について †　一森哲男
■ 街角の群衆の歩行者位置推定 *　藤田　悟 他
■ OpenFlow と協調する仮想マシン環境におけるリアルタイム通信基盤の設計 *　鈴木健一 他
■ 静的解析による Android パーミッションの利用目的の可視化方法 *　坂下卓弥 他
■ 遺伝的アルゴリズムによる永続的互恵主義の可能性　塩村　尊 他
■ 実空間物に対する仮想エージェントの所有表現における表情の有効性 *　吉田直人 他

*：推薦論文　Recommended Paper
†：テクニカルノート　Technical Note

論文誌トランザクション掲載論文リスト
（Jan. 2015）

【論文誌 教育とコンピュータ Vol.1 No.1】

■ 論文誌「教育とコンピュータ」の発展に期待する　筧　捷彦
■ 大学教育の情報化とその組織的課題　喜多　一
■ Programming education at high schools and universities : Design, development, and assessment　Eiko Takaoka 他

【Transactions on Bioinformatics Vol.8】

■ A Memory Efficient Short Read De Novo Assembly Algorithm　Yuki Endo 他

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.7】

■ Neural 1D Barcode Detection using the Hough Transform　Alessandro Zamberletti 他
■ Aircraft Detection by Deep Convolutional Neural Networks　Xueyun Chen 他

デジタルプラクティス掲載論文リスト
Vol.6 No.1（Jan. 2015）

【特集：プライバシーフレンドリーシステム】

【特集号招待論文】

■データプライバシー対策をグローバル対応するための顧客情報管理データベースの設計と運用のプラクティス―連絡先情報をプロモーション連絡に利用する事例―　佐藤慶浩
■ Privacy-First の実践に向けて― PPM (Privacy Policy Manager) の開発と実証―　中村　徹 他
■プライバシーに配慮したパーソナルデータ連携実現に向けたプロトコルデザイン― OpenID Connect 設計におけるプラクティス―　崎村夏彦
■自律分散協調ヘルスケアを目指して― PLR に基づく介護支援システムの開発―　橋田浩一 他
■モバイル空間統計の実用化に向けた取り組み　寺田雅之 他
■《座談会》プライバシーフレンドリーな社会に向けて　佐藤慶浩氏，高崎晴夫氏，中村　徹氏，村田　潔氏，折田明子氏

【解説】

■セキュリティ評価基準コモンクラリテリアが変わる―ベンダもユーザも乗り遅れるな！―　金子朋子 他

【一般投稿論文】

■自動化した大学間高精細遠隔講義システムの構築と５年間の運用での課題　櫻田武嗣 他

詳しくは http://www.ipsj.or.jp/ をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます.

会員募集中!!

申込／照会先　一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
Tel(03)3518-8370（会員サービス部門）　E-mail: mem@ipsj.or.jp

ご意見をお寄せください！

【2 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　一般社団法人 情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html　Fax(03)3518-8375　E-mail: editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）
※ ご意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

［コード］

〔1〕ご氏名

〔2〕ご所属　　Tel.（　　）　　-

〔3〕E-mail:

〔4〕業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関（d）教育機関（大学・高専など）
（e）学生（f）その他 …… 4- [　　]

〔5〕職種：（a）研究職（b）開発・設計（c）システムエンジニア（d）営業（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職（g）教職員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）
（i）学生（j）その他…… 5- [　　]

〔6〕年齢：（a）10 代（b）20 代（c）30 代（d）40 代（e）50 代（f）60 代以上 …… 6- [　　]

〔7〕性別：（a）男性（b）女性 …… 7- [　　]

〔8〕あなたはモニタですか？：（a）はい（b）いいえ …… 8- [　　]

〔9〕あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望（c）掲載を希望しない …… 9- [　　]

〔10〕今月号（2015 年 2 月号）の記事は良かったですか．下記の記事すべてについて評価をご回答ください．
［ a …大変良い　b …良い　c…普通，どちらとも言えない　d …悪い　e…読んでいない ］

巻頭コラム：MOOC の拡大は何をもたらすのか …… 10-1- [　　]
特集：ウェルネスのための ICT
1. 生活習慣改善の継続支援技術 …… 10-2- [　　]
2. 日本のレセプト情報・特定健診等データベース（NDB）の有効活用 …… 10-3- [　　]
3. 認知症予防に役立つ ICT …… 10-4- [　　]
4. ICT を用いた運動・身体活動の測定方法と健康増進への活用 …… 10-5- [　　]
5. ディジタル・ビューティー …… 10-6- [　　]
6. ウェアラブルセンシングとヘルスケア …… 10-7- [　　]
7. セルフモニタリングのための画像を用いた食事記録ツール：FoodLog …… 10-8- [　　]
小特集：情報オリンピック
1. 国際情報オリンピックと日本情報オリンピック …… 10-9- [　　]
2. IOI 2014 台湾大会に参加して …… 10-10- [　　]
3. 情報オリンピックの問題 …… 10-11- [　　]
IT 好き放題：やはりシステム検証が好き…… 10-12- [　　]
ぺた語義：情報学分野参照基準その後…… 10-13- [　　]
ぺた語義：新しいスキル標準体系を活用した人材育成…… 10-14- [　　]
ビブリオ・トーク：To Mock a Mocking Bird …… 10-15- [　　]
会誌編集委員会女子部…… 10-16- [　　]
会議レポート：IIAI International Conference on Advanced Applied Informatics 2014（IIAI AAI 2014）…… 10-17- [　　]

〔11〕本号で最も良かった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．
〔11-1〕良かった記事 …… 11-1- [　　]
〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 11-2- [　　]
〔11-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 11-3- [　　]
a) 技術・研究動向がよく分かった　b）知的興味をかきたてられた　c) 新たな知識を得ることができた　d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕本号で最も良くなかった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．

〔12-1〕良くなかった記事 …… 12-1- [　　]

〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 12-2- [　　]

〔12-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 12-3- [　　]

a) 記事の内容に誤りがあった　b) ありきたりの内容だった　c) 記事が難しすぎた　d) 何を言いたいのか分からなかった　e）宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味が持てなかった　g）その他（下記に具体的にご記入ください）

〔13〕今月の特集に対する貴方の立場を教えてください．

〔13-1〕ウェルネスのための ICT：a）専門家　b）非専門家 …… 13-1- [　　]

〔13-2〕情報オリンピック：a）専門家　b）非専門家 …… 13-2- [　　]

〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください．

〔15〕会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください．
（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部）　※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　　Fax(03)3518-8375　http://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），DP レポート，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／ JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP 委員会
■ 事業部門			
事　業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナ，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総　務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図　書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　http://www.itscj.ipsj.or.jp/

先日，92 回目の誕生日を祝う会で祖母が「長く生きれば生きるほど，1 日でももっと長く生きたい欲望が増すのよ」と話していた．「もう十分じゃないの…」と同居して面倒をみている母は本人に，それを陰ながら遠距離で応援している私は心の中でつぶやいていた．

経済的に成熟を迎え物の行き渡った先進国の人々の関心は，生活の質の向上であるという．その基盤となるのがやはり「健康」で，病気に苦しむことなく元気に長生きし，病まずにコロリと死のうという意味の PPK（ピンピンコロリ）が理想なのだろう．

そういえば冒頭の祖母は，40 年ほど前から自家菜園を開墾し収穫される野菜類でいろいろな料理を考案するなど，若いころから常に健康を意識して生活していた．また，ファッションや（他人の）恋愛にもすさまじい関心を持っていた．やはり運動を適度に取り入れ食生活に気を配り，世間に関心を持ち続けることが健康で長生きの秘訣なのだろうか．

日常生活において病気を予防しながら健康寿命を延ばし，生活の質を向上させるための予防的健康サービスの需要は高まっているが，研究や事業は始まったばかりである．本分野は対象が生身の人間であるため，科学的根拠のベースとなるデータの取得が困難であったり時間を要することが多い．それゆえに，技術革新の速い情報系の分野に比べて研究開発の成果が見えにくいのも事実である．しかし，本分野で諦めずに最後までやり抜いたときに得られる成果が世に与える価値は大きいと信じている．祖母や母そして私自身の PPK には間に合わないかもしれないが，人類の未来に向けて研究を続けていきたい．

最後に，本特集への寄稿を快諾いただいた執筆者の方々と編集にご協力くださった皆様方にこの場を借りてお礼を申し上げる．

（村上知子／本特集エディタ）

本小特集を企画したのは，情報処理教育委員会の席上で筧先生が「もっと会員に若者のプログラミング競技会のことを知ってもらうようにしたい」と発言されたことがきっかけになっている．そこで早速，そのような特集を検討した．しかし，プログラミング競技会は非常に多様で，それを網羅しようとした場合，大きな特集になってしまい，1 つずつについてはあまりページが割けない．それより，高校生がアルゴリズム中心で競技を行う情報オリンピックに絞り，実際にどのような問題が出されているのかを具体的に紹介する方が面白いのではと考えた．そこで，情報オリンピック日本委員会の谷先生に相談したところ，快諾をいただき，企画を進めることができた．実際に出場経験者に紹介記事を書いてもらうことで臨場感のある内容とするなどの方針も，谷先生と相談させていただいて決めていった．次の日本情報オリンピック（第 15 回，JOI 2015/2016 の予選）の広報に役立てられる時期に掲載したいとの希望からスケジュールがタイトになり，また実際の問題はかなり分量があって紙面を取り編集担当の方に苦労をお掛けするなどのこともあったが，なんとか取りまとめることができてほっとしている．これまであまり知られていなかった内容だと思うので，多くの読者に関心を持っていただければと考えている．

（久野　靖／本小特集ゲストエディタ）

次号（3 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「特集」OSS に見る IT の最新動向

OSS の進化―コミュニティ開発のもたらすもの―／ OpenStack に見るクラウドシステム技術／大規模データ解析を支える OSS 技術／基幹システムを実現する Linux 技術／ Software Defined Networking（SDN）を支える OSS 技術

解　説：「3D プリンタ最前線」～技術概要，情報産業へのインパクト，最新動向～（前）…… 山口修一
DNS への攻撃とその対策 …… 藤原和典 他
ICT による就活支援の現状と課題 …… 西井香緒里 他

学会活動報告：IFIP ―情報処理国際連合―近況報告 …… 村山優子

教育コーナー：ぺた語義
連　載：ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部
コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円（税込 356,400 円）	—	—
表 3	275,000 円（税込 297,000 円）	—	—
表 4	385,000 円（税込 415,800 円）	—	—
表 2 対向	300,000 円（税込 324,000 円）	—	—
表 3 対向	265,000 円（税込 286,200 円）	190,000 円（税込 205,200 円）	155,000 円（税込 167,400 円）
前付 1 頁	250,000 円（税込 270,000 円）	165,000 円（税込 178,200 円）	135,000 円（税込 145,800 円）
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円（税込 86,400 円）
前付最終	—	—	148,000 円（税込 159,840 円）
目次前	—	—	148,000 円（税込 159,840 円）
差込（A 判 70.5kg 未満　1 枚）	275,000 円（税込 297,000 円）		
差込（A 判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）		
同封（A 判　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）		

■「情報処理」

発　　行　一般社団法人 情報処理学会
発行部数　20,000 部
体　　裁　A4 判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　完全版下データ
原稿寸法　1 頁　天地 260mm× 左右 180mm
　　1/2 頁　天地 125mm× 左右 180mm
雑誌寸法　天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073　東京都新宿区百人町 2-21-27
アドコム・メディア（株）（Tel/Fax/E-mail は下に記載）

＊原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます.
＊同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください.

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，ご希望の会社名にチェック ☑ を入れ，送付希望先をご記入の上，Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア（株）宛にご請求ください.

■「情報処理」 56 巻 2 号　掲載広告（五十音順）

□インタフェース …… 表 2
□日立製作所 …… 表 4
□フォーラムエイト …… 表 2 対向
□ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お 名 前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

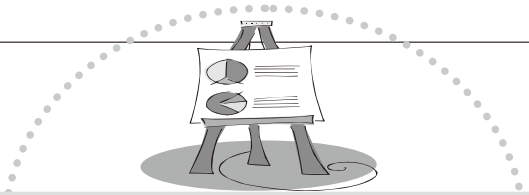
勤 務 先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 所属部署 ＿＿＿＿＿＿＿＿

所 在 地 （〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL（　　）　　-　　FAX（　　）　　-

ご専門の分野 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア（株）
Tel.03-3367-0571　Fax.03-3368-1519　E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介いたします．
Web サイト（http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html）「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので，ぜひご覧ください．

照会先　情報処理学会　会員サービス部門　E-mail: mem@ipsj.or.jp　Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員（20 ～ 50口）

（株）日立製作所

富士通（株）

日本電気（株）

三菱電機（株）

（株）東芝

日本アイ・ビー・エム（株）

●●● 賛助会員（10 ～ 19口）

グーグル（株）

グリー（株）

（株）NTT ドコモ

日本電信電話（株）

日本マイクロソフト（株）

●●● 賛助会員（3 ～ 9口）

NTT データ（株）

NTT コムウェア（株）

沖電気工業（株）

楽天（株）

情報サービス産業協会

（株）うえじま企画

三美印刷（株）

ソニー（株）

パナソニック（株）

ぷらっとホーム（株）